

平成 30 年度事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 31 日まで

特定非営利活動法人
中間市地域活性化協議会

1 事業の成果

中間市新名所お披露目事業

今回のイルミネーションは初めての開催ということもありましたが、かなりの反響をいただきました。中間市にこんな素晴らしいところがあったのかというお声もいただきまして中間市の新名所としてしっかりPR出来たと思います。また、イルミネーションは中間市 3 大祭りにふさわしい位置づけとなり来年の桜まつりは例年以上に来場していただけると確信しております。このイベントで市制 60 周年に向けた良いスタートダッシュになったのではないかと思います。

流イキッズ交流会

本年は九州に近づく台風の影響により、計画していたカヌー体験を、海水浴に変更したことや、最終日に台風が上陸したことで、中間市に避難勧告が出たため、事業の時間短縮を余儀なくされました。この時間短縮により、最終日に班ごとの全体のまとめを発表する時間が取れなかったのは残念でしたが、子ども達が遠賀川の役割や環境問題に関するプログラムを受講し、毎日まとめの時間を利用し、遠賀川を守る事の大切さを改めて考え、自ら行動する気持ちを芽生えさせ、先々の地域活動への参加に繋がっていく大きな期待を作ることが出来たことは本事業の開催目的を達成したと考えます。3 日間を通して安全に注意して子供達ひとりも事故や怪我が無く、特に熱中症に対しての注意喚起を怠ることなく、保護者へ無事にお返しできたことが大きな成果であり、また中間市内での募集に対し、募集人数を越える生徒が集まり、中間市全体での子供交流が図れたことも次年につながる成果であったと考えます。

エタンセル@NAKAMA

前回出場したチームが再度参加の意向があり、地域に根差したイベントになっている事と思いました。また、著名なダンサーの観覧やB級グルメのブースを目当てに参加していただいた方で会場はいっぱいとなり、賑わいの創出に寄与する目的を達成できたと思います。そして、イベントを通じて市内はもちろんのこと、市外に対しても中間市の元気を知っていただいた効果もありました。

ダンス講習会

DA PUMPのKENZO氏による講演という事で児童の注目度も高く、ダンスを通じた達成感、責任感をテーマに講演を行えたことは児童にとっても良く、目的は達成できたのではないかと思います。今回初めてこのような事業を展開したことで、中間市にはこのようなユニークな事業もあることを市内のみならず市外にも周知出来た効果があったのではないかと思慮します。

遠賀川フェス

市内外から多くの方々に訪れていただくという目的は7,000名と去年より少なく反省点を残す結果となりました。しかしながらメンバー11名、ボランティアスタッフ11名と地域の活性化を思う多くの人材と、各外部協力者や行政と連携をして問題もなく事業を終えたことは大きな成果と確信します。また、川ひらを用いて遠賀川の歴史や文化を多くの来場者に伝えることができ、市民の郷土愛向上に繋がったと確信いたします。

さくらまつり

今回のイルミネーションは3日間開催とSNSでのPRもうまくいったおかげでかなりの反響をいただきことが出来ました。中間市にこんな素晴らしいところがあったのかというお声も多くいただき、中間市の認知度向上につながったと思います。中間市の魅力をもっと皆様に知ってもらうためのきっかけに、このイルミネーションを全国各地の方々やインバウンド（世界）に目を向けた取り組みを来年以降行って参ります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の金額
①地域参加 型の交流イ ベント事業	中間市新名所お 披露目事業	4/1	中間市垣生公 園内	6	中間市垣生 公園に花見 に来ている 地域住民	1,076,470
②青少年育 成に関する 事業	流イキッズ交流 会	7/27 ～ 7/29	中間市地域交 流センター 中間市中央公 民館 福岡県立少年 自然の家玄海 の家 遠賀川河口堰 資料館	12	中間市の小 学校に通う 小学4年生～ 6年生 52 名	1,402,000

①地域参加型の交流イベント事業	エタンセル@N AKAMA	10/28	イオンなかま 店駐車場内	30	中間市・遠賀 町・水巻町・ 芦屋町・岡垣 町及び周辺 住民	1,637,427
①地域参加型の交流イベント事業	遠賀川フェス	3/17	中間市役所前 遠賀川河川敷	22	中間市を含 む福岡県内 全域住民	3,511,786
①地域参加型の交流イベント事業	さくらまつり	3/29	中間市垣生公 園内	7	中間市垣生 公園に花見 に来ている 地域住民	2,345,824

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	事業費 の金額
通常総会	2017 年度事業報告	6/21	当事務 局	12	6,722
臨時総会	監事選任の件	3/27	当事務 局	11	0

中間市地方創生シティプロモーション事業

平成30年度 報告書

令和元年5月31日提出

NPO法人 中間市地域活性化協議会

1. はじめに—平成30年度を振り返って

「地方創生」から「地域共創」の継続を目指して—

◎平成30年度の中間市地方創生シティプロモーション事業を担当させていただき、誠にありがとうございました。今年度の大きな特徴は、平成30年4月1日に中間市市制60周年キックオフイベントとして始まった垣生公園の「桜イルミネーション」です。初年は1日限定だったイルミネーションが、大変好評だったこともあり、平成31年には3月29日～31日の3日間にわたり実施。SNSインスタグラムを活用したPRフォトコンテストも同時開催し、海外からも問い合わせがあるほどの高評価を得ることができました。

◎特に課題として感じていた「人々が集うイベントやまつりを、もっと盛り上げる手法はないか？」という点において、桜イルミネーションやSNSの活用では大きな手応えを実感することができました。また「市民がせっかくある“ゆたかさ”や“美しい自然”“まち”を誇りに思っているだろうか？」という課題に関しても、継続する遠賀川流域のイベントや新たな観光名所としてファン層を広げた垣生公園の桜まつりなどを通して、シビックプライド醸成の一助に役立てているのではないかと感じています。

◎ここに、平成30年度の事業報告を記すとともに、2020年に向けて継続した事業の機軸となるコンセプト（スローガン）をふたたび掲げ、次年度に向けての継続する力にしていきたいと考えます。

【中間市地方創生シティプロモーション事業コンセプト】



◎合言葉は「いろんななかま（仲間）が、なかま（中間）に集まる！」面白いひと・もの・ことが集まるまちを目指して、来年度も文化とスポーツ精神にのっとった健やかなイベントを展開していきたいと考えます。

2. 平成30年度の具体的な事業報告

(1) 中間市市制60周年キックオフイベント

桜×イルミネーション×音楽 垣生公園 さくら祭

【目的】

◎桜の名所として知られる「垣生公園」が、四季折々の見どころを携えてリニューアルオープン。そのお披露目と中間市市制60周年のキックオフイベントを兼ねて、セレモニーイベントと夜桜をイルミネーションでライトアップする新しい取り組みを企画・実施しました。

【実施概要】

- 日時：平成30（2018）年4月1日（日）
 - ◎セレモニー 11:00～11:50 ◎イルミネーション 19:04～21:37
 - ◎露店出店 3月28日～4月3日 10:00～21:30
- 実施会場：垣生公園・埴生神社
- 参加者：4月1日のイルミネーション時の来場者はのべ2,000名
- スタッフ：NPO法人メンバー6名・中間市職員5名
- 外部協力者および団体等：
 - ◎出演者：福田健次中間市長・山口光貴氏（歌手）
 - ◎音響照明：イベントシンクプロモーション ◎露店：NPO法人北九州物産振興会

【実施組織】

- 実行委員長 富田 誠二（運営総合責任者）
- 副実行委員長 中本 彰（副責任者・設営責任者）
- 実行委員 西條 努（副責任者・警備責任者）
 西谷 真紀子（副責任者・セレモニー責任者）
 桑野 道弥（警備担当）・神代 龍太（タイムキーパー・ゲスト誘導）

【具体的な実施内容】

①セレモニー 10:00～11:50

- 11:00～11:00 オープニング（司会者）
- 11:02～11:10 福田健次中間市長挨拶
- 11:11～11:25 山口光貴ライブ（3曲）
- 11:26～11:27 エンディング（司会者）
- 11:28～11:50 垣生公園新名所案内（司会者）



②イルミネーション 19:04～21:37

- 19:04～19:14 桜ライトアップ
- 19:14～19:15 カウントダウン
- 19:16～19:30 桜イルミネーションショー
- 19:31～19:32 エンディング（司会者）
- 19:32～21:37 イルミネーション

【事業実施成果と課題】

◎初の桜イルミネーションの反響が大きかった。

「中間市にこんなに素晴らしいところがあったのか」という参加者の嬉しい声もあり、中間市の新名所としてのお披露目PRの役割を十分に果たせたのではないかとされる。

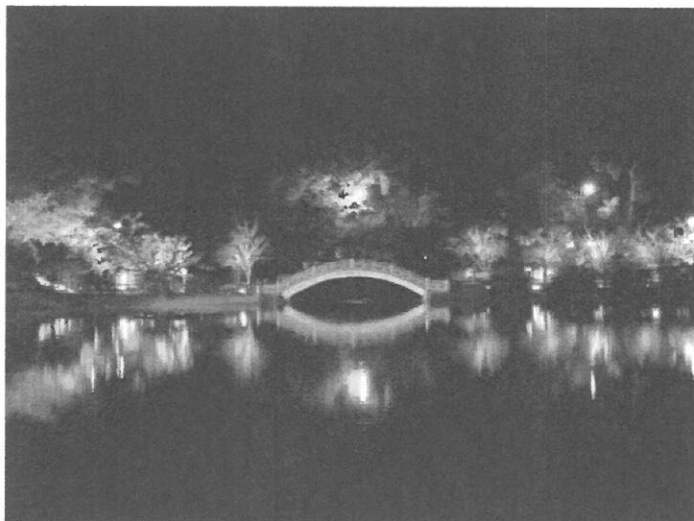
◎中間市三大まつりの一つにふさわしい位置づけとなり、来年の桜まつりは例年以上の来場者が期待された。市制60周年のよいキックオフにもなった。

◎桜の開花時期が確定できず、出店者への依頼や必要書類の提出が遅くなってしまった点は課題である。次年度に経験を活かしたい。

◎イルミネーションショーの最中に、橋をわたらないよう案内看板が必要であった。急遽用意することとなり、関係各位に迷惑をかけてしまった点も反省材料の一つである。

◎想定外に来場者が多かったため、車の通行対策に課題が残った。

◎イルミネーションは1日限定だったため、計画時の消灯予定時間に対し来場者から延長要請が多数あり、消すに消せないほどの状況となった。



(2) 流イキッズ交流会

【目的】

◎遠賀川にはさまざまな魅力や価値があります。中間市において、遠賀川は古くから身近な存在のはずですが、近年、こうした水辺の魅力や価値が忘れられ、水辺とまちの関係性が希薄になっているのが現状です。魅力あふれる遠賀川を取り戻すためにも、まずは次世代を担う子どもたちにその自然の素晴らしさや、水を育む上流の森の大切さに気づいてもらうこと。市制60周年を迎える中間市の子どもたちへ、遠賀川の果たす役割や環境問題、歴史や文化などを学んでもらうことで、遠賀川とふるさとへの愛着を育むことを目的に実施しました。

【実施概要】

■日時：平成30（2018）年7月27日（金）・28日（土）・29日（日）（2泊3日）

■参加者：中間市在住の小学4年生～6年生 48名

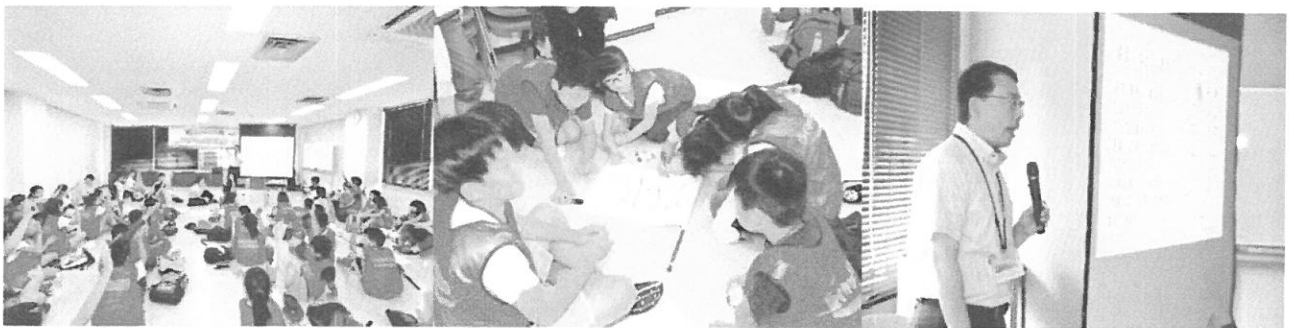
■スタッフ：NPO法人メンバー11名・一般ボランティア5名・学生ボランティア7名・
中間市職員1名・看護師1名

■外部協力者および団体等：

◎遠賀・中間広域連携プロジェクト推進会議・源流の森づくり推進会議（会長・森裕治氏）・遠賀川河川事務所河口堰管理支所（所長・甲斐芳幸氏）・北九州市上下水道局水質試験所（坂田和歌子氏）・国交省遠賀川河川環境保全モニター（淵上信好氏）・大庭農園（大庭氏）・NPO法人北九州物産振興会（野口氏）

【実施組織】

- | | |
|---------|---------------------------------|
| ■理事長 | 富田 誠二（児童統括・コーディネーター） |
| ■実行委員長 | 北地 紀章（全体統括） |
| ■実行副委員長 | 西條 努（1・2日目 設営/3日目 1・2・3班リーダー） |
| ■実行委員 | 藤川 和博（1・2日目 1・2・3班リーダー） |
| | 神代 龍太（4・5・6班リーダー）・中本 彰（設営統括・会計） |
| | 井川 真吾（設営）・松元 智恵（設営）・西谷 真紀子（設営） |
| | 森田 圭一（設営）・山中 円（写真撮影） |
| ■救護 | 中島 真吾（看護師） |



【具体的な実施内容】

（1日目）7/27（金）「遠賀川源流に、あつまる！」

- ①中間市中央公民館にて児童受付。結団式とオリエンテーションののち、遠賀川についての講義を受ける。
- ②バスで移動し、遠賀川源流近辺の見学へ。途中、神社前の日陰場所で昼食。さらに移動し、実際の源流の森にて山についての講義を受ける。源流近辺を見学＆体感した後、宿泊所へバス移動。
- ③福岡県立少年自然の家・玄海の家にて宿泊。夕べのつどいや入所式、キャンプファイヤー、花火などを行い、連帯感や友情を深める。



（2日目）7/28（土）「遠賀川中流に、あつまる！」

- ①朝の集い後、海洋カヌー体験の準備をする。が、台風の接近に伴い、安全を期してカヌーを中止。海水浴体験に切り替えた。
- ②バスで移動し、遠賀川の中流域、鞍手の大庭農園さんで野菜の収穫体験。スーパーに売っている野菜ではなく自然の中にある恵みを初体験した児童も多かった。
- ③バス移動。中間市地域交流センターの調理室で収穫した野菜を洗う。センターの夕食は屋台スタイルで楽しんだ。



（3日目）7/29（日）「遠賀川河口に、あつまる！」

- ①遠賀川河口堰資料館にて、国交省遠賀川河川事務所職員に協力していただき、河口堰の役割とゴミ問題などについてのレクチャーを受ける。
- ②北九州市上下水道局水質試験所の方に協力していただき、水質の浄化体験を行う。
- ③河川敷プログラムでは、遠賀川の生物調査体験を行う。河口堰の役割や漂着ゴミ問題について学ぶ。
- ④中間市中央公民館にて3日間のまとめを行い、修了式を行った。





【事業実施成果と課題】

◎本年度は九州に近づく台風の影響により、計画していたカヌー体験を海水浴に変更。最終日には台風により中間市に避難勧告が出たため、事業の時間短縮を余儀なくされた。このため、最終日に班ごとの全体のまとめを発表する時間が取れなかったのが残念だった。

◎計画の変更はあったが、全体を通して子どもたちが遠賀川の役割や環境問題に関するプログラムを受講し、自分たちで遠賀川を守る大切さを改めて考える時間を持てたことは大きな成果であった。将来、子どもたちが地域活動に自発的に参加する種まきをできたのでは、と感じている。

◎3日間を通して、安全面にはことのほか注意をした。熱中症の対策も万全に、子どもたちに一人も事故や怪我がなく過ごせたことも大きな成果であった。

◎本年度は、中間市の小学生のみを対象としたが、募集人数を超える申し込みがあり（申し込み52名/病気や怪我により当日参加は48名）、中間市全体での子どもたちの交流が図れたことも大きな成果であった。募集チラシを早期に作成し、中間市から小学校に直接配布できたことが良策だったと思われる。

◎雨天時のプログラムを作成し、雨対策は想定していたが、思いがけない台風の接近に臨機応変な対応を余儀なくされた。次年度以降は、仮に変更することがあってもいかに意義あるプログラムを代替するかが課題であると感じた。プログラムについては、子どもたちに少しでも多くを体験してほしい一心から、詰め込み気味にあることも反省点とし、今後の課題としたい。

◎事業を運営する私たち大人が模範となり、少しでも多くの子どもたちに発信し続けることで、この事業に参加した子どもたちが大人になった時に、「ふるさとの遠賀川を守ろう！」と声を大にして言ってくれることを期待し、今後も遠賀川に対する活動を継続していきたい。



(3) I LOVE ♥なかま 遠賀川フェス

【目的】

◎愛すべきふるさと遠賀川河川敷を、中間のにぎわいステージに—その想いで平成28年度（平成29年2月）に立ち上げた、新しい中間のイベント「遠賀川フェス」。この事業を継続していくことを通して、地域の活性化とそれに伴う人材力の向上を目指し、民間団体と行政が協働して温かいにぎわいのある地域を共創していくことをねらい実施しました。また、遠賀川という地域資源を活かしたイベントを開催することで、市民の郷土愛向上につながることも目的としています。

【実施概要】

- 日時：平成31（2019）年3月17日（日） 11:00～18:00
- 会場：中間市役所前遠賀川河川敷
- 来場実績：中間市を含む福岡県内全域より約7,000名（集客見込み10,000名）
- スタッフ：NPO法人メンバー11名・地域ボランティア11名・川船製作研究会9名・食ブース出店35店舗
- 外部協力者および団体等：
 - ◎司会（鶴田弥生氏）・ゲスト（Amie氏・Tensho氏・Nami Lee氏・Tomio氏・騎士竜戦隊リュウソウジャー）・イベントシンクプロモーション・NPO法人北九州物産振興会・川船製作研究会
- 来賓：福田健次中間市長・衆議院議員麻生太郎氏（代理）・福岡県議会議員片岡誠二氏

【実施組織】

- 代表理事 富田 誠二（イベント全運営責任者）
- 実行委員長 中本 彰（運営総合責任者・各ブース周り関連全般）
- 実行副委員長 神代 龍太（川ひらた運営責任者）
- 運営幹事 西條 努（川ひらた受付・抽選およびボランティア責任者）
- 実行委員 井川 真吾（全体副責任者・来賓対応・ステージ周り）
藤川 和博（ドリンク販売責任者）
西谷 真紀子（第2司会・商品券抽選副責任者）
北地 紀章（商品券抽選責任者・メディアおよび広報責任者）
森田 圭一（ドリンク販売副責任者）
桑野 道弥（本部テントアンケート）・山中 円（本部テントアンケート）
木村（本部テントアンケート責任者）
- 他ボランティア11名（会場ゴミ・アンケート・川ひらたサブ・商品券抽選）



【具体的な実施内容】

①メインステージ

- 11:00～11:05 オープニング
- 11:15～11:45 Amie ふれあいマジックショー
- 11:55～12:20 騎士竜戦隊リュウソウジャーショー
- 12:25～12:45 騎士竜戦隊リュウソウジャー撮影会
- 12:45～13:00 来賓挨拶 福田中間市長ほか
- 13:15～13:45 Tensho パフォーマンスショー
- 14:00～14:30 Nami Lee ライブステージ
- 14:45～15:15 Tomio パフォーマンスショー
- 15:30～16:00 Amie ふれあいマジックショー
- 16:15～16:45 Tensho パフォーマンスショー
- 16:45～17:15 騎士竜戦隊リュウソウジャーショー
- 17:15～17:45 騎士竜戦隊リュウソウジャー撮影会
- 17:45～18:00 フィナーレ（閉会式）

②会場専用商品券抽選会

- 12:40～13:40 第一部アンケート抽選会
- 15:00～16:00 第二部アンケート抽選会

③川ひらた試乗会

- 11:00～16:00 川船製作研究所による「川ひらた」
遊覧船試乗会（11:45・12:40・13:50・15:00）

【事業実施成果と課題】

◎本年度は開催の詳細決定が遅れたため、チラシやポスターでの告知の遅れが生じた。次年度は、事業開催4カ月前には明確な事業内容を作成。チラシやポスターだけでなくSNSやメディアを活用した広報展開に積極的に取り組みたい。

◎広報活動の充実とともに、市民が望むイベントやステージの内容を検証し、より多くの人々が毎年このイベントを楽しみにしてくれるよう工夫したい。

◎来場者数に関しては課題を残したが、メンバー11名、ボランティアスタッフ11名と、地域の活性化を願う多くの人材と各外部協力者や行政と連携して大きな事故もなく事業を終えられたことは、一つの成果であったと確信する。地域を愛する人材のすそ野を広げていくことも本事業の目的の一つであると感じた。

◎川ひらたを通して、遠賀川の歴史や文化を多くの来場者に伝えることができた。

◎ステージ前で立ち見する来場者に対し、イートインスペースの座席から見えないとの指摘があった。これを踏まえ、次年度はステージとイートインスペースの距離や設置に工夫が必要である。



(4) 垣生公園 さくらイルミネーション事業

【開催経緯と目的】

- ◎中間市の三大祭の一つ「筑前中間さくら祭」の演出の一環として、市制60周年を機に平成30（2018）年4月にスタートした「さくらイルミネーション」。桜の名所として知られる「垣生公園」の昼と夜の世界観が話題を呼び、平成31（2019）年の春も継続開催することとなりました。
- ◎初回の課題を踏まえ、今回のイルミネーションは3日間の開催に。中間市の新たな観光名所として、福岡県下はもとより国内外からの注目を高めることも目的に実施しました。

【実施概要】

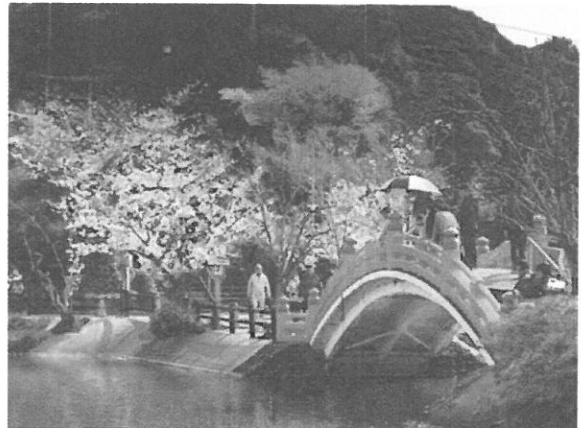
- 日時：平成31（2019）年3月29日（金）～31日（日）
 - ◎イルミネーション 19:00～21:00 ◎31日のみ音と光のイルミネーションショー（2回開催）
 - ◎露店出店 3月23日（土）～4月7日（日） 10:00～21:30（金・土・日/月～木は21:00まで）
- 実施会場：垣生公園・埴生神社
- 参加者：3月29日のイルミネーション時来場者は約3,000名
3月30日のイルミネーション時来場者は約5,000名
3月31日のイルミネーション時来場者は約7,000名
- スタッフ：NPO法人メンバー6名・中間市職員5名
- 外部協力者および団体等：
 - ◎協力：中間市 ◎音響照明：イベントシンクプロモーション
 - ◎露店：NPO法人北九州物産振興会

【実施組織】

- 実行委員長 富田 誠二（運営総合責任者）
- 副実行委員長 藤川 和博（副責任者・設営責任者）
- 運営幹事 中本 彰（副責任者/イルミネーション責任者）
- 実行委員 西谷 真紀子（副責任者・セレモニー責任者）
西條 努（副責任者/警備責任者）
神代 龍太（タイムキーパー・ゲスト誘導）
北地 紀章（写真担当）

【具体的な実施内容】

- ①3月29日（金） 18:55～21:00
 - 18:55～19:00 福田健次中間市長挨拶
カウントダウン
 - 19:00～21:00 イルミネーション点灯
- ②3月30日（土） 19:00～21:00
 - 19:00～21:00 イルミネーション点灯



③3月31日（日） 19:00～21:00

- 19:00～21:00 イルミネーション点灯
- 19:10～19:15 福田健次中間市長挨拶
- 19:15～19:30 桜イルミネーションショー①
- 20:15～20:30 桜イルミネーションショー②

④同時開催

第1回 中間市の桜フォトコンテスト

■3月10日～5月6日

■最優秀賞（3万円商品券）ほか

【事業実施成果と課題】

◎初の桜イルミネーションの反響が大きかったため、今回は3日間実施し、3日目にはライトアップだけでなく「音と光の桜イルミネーションショー(2回実施)」も開催した。

◎フォトコンテストやSNS（インスタグラム）との連携PRも功を奏し、初日から3日目までに来場者が日増しに増えた。「中間市にこんなに素晴らしいところがあったのか」と驚きの声も多く、海外からの問い合わせもあったことから、今後はインバウンド集客も視野に入れた展開を考えていきたい。

◎急激な来場者増に伴い、駐車場や車両規制などの対応が課題となった。今後は近隣小学校や河川敷などの臨時駐車場の確保や、臨時駐車場からのピストンバスの運行、交通規制、警備などを充実させていく必要があると感じた。

◎来場者の増加に伴い、迷子や拾得物の総合インフォメーションとして、本部テントの設置も必要になると思われる。

◎イルミネーションのみのライトアップと「音と光の桜イルミネーションショー」の区別がつきにくく、来場者が困惑したとの報告があった。今後は表記の統一などを工夫していきたい。



(5) 新名物「豚もっちゃん」プロジェクト

【目的】

◎郷土愛プロジェクトの一環として誕生した中間の新名物「豚もっちゃん」。豚のモツを味噌で煮込んだ愛すべき家庭料理を、広く発信するための商品化とブランド力強化を継続しています。

【実施概要】

- 日時：平成30（2018）年度～随時継続
- おもな拠点：交流センター・幸人カフェ

【事業実施成果と課題】

◎予算をあまりかけなくとも、ひらめきとアイデアで、まだまだふるさと中間をアピールできる新名物を発掘できるのではと試行錯誤をしている。

(6) 中間市企業誘致プロジェクト

【目的】

◎安川電機の中間市への誘致に続くべく、さらなる企業誘致を目指した活動を地道に継続しました。私たちは、中小企業の誘致を最優先に進め、雇用の確立やまちのにぎわいの創出、若年層の取り込みなどを目指し、継続的に取り組んでいきたいと考えます。

【実施概要】

- 日時：平成30（2018）年度～随時継続
- おもな拠点：NPO法人中間市地域活性化協議会

【事業実施成果と課題】

◎平成30年度は企業誘致に至らなかった。継続展開が必要と思われる。訪問実績は以下の通り。

会 社 名	業 種	所 在 地	アクション
カーメイク匠	自動車修理工	水巻町	訪問
熊野工業	建設業	岡垣町	訪問
アタック	人材派遣業	小倉北区	訪問
(有) アベ建装	内装業	宮若市	訪問
岩永工業(株)	鉄工業	芦屋町	訪問
(株) au home	リフォーム業	小倉北区	TEL
(有) 小林工業	人材派遣業	若松区	訪問
(株) 修徳興業	建設業	八幡西区	訪問
プログレーション	自動車修理工	八幡西区	訪問
毘沙門うどん店	飲食業	八幡西区	訪問
株式会社玉置	保険業	飯塚市	訪問
リーベエンタープライズ(有)	司会業	小倉南区	訪問
VISION	飲食業	飯塚市	訪問

(7) 中間市PRプレゼン能力強化プロジェクト

【目的】

◎郷土中間の魅力を全国展開で伝えていくことを目指して、PR活動を積極的に行うことは、最優先課題と考えます。私たちNPO法人では、そのためのプレゼン能力を高めるため、中間市の魅力をプレゼン・発信できる人材の育成に取り組む勉強会などを開催していきます。

【実施概要】

- 日時：平成30（2018）年度～随時継続
- おもな拠点：NPO法人中間市地域活性化協議会

【事業実施成果と課題】

◎平成30年度は他の事業展開が多く、大きな勉強会の開催には至らなかったが、さまざまなイベントの開催とその報告会を通して、日々、プレゼン能力の強化と人材の育成に取り組んだ。今後とも積極的に勉強を継続していきたいと考える。

(8) 事業外イベント「エタンセルフエス@NAKAMA ～なかま集まれ！市制施行60周年記念～」& 「ダンス講習会」共催

【開催経緯と目的】

◎中間市の市制60周年を記念した「エタンセルダンスフェス」と小学校を対象とした「ダンス講習会」。主管団体であるひびき青年会議所をバックアップすることを目的に、共催参加させていただきました。行政や他団体との連携事業に積極的に取り組むことで、地域活性化への重要性を再認識し、地域開発事業に対する会員の意識高揚の一助にもなると考えました。

【実施概要】

【エタンセルフエス】

- 日時：平成30（2018）年10月28日（日）10:00～18:45
- 会場：イオンなかま店・駐車場内
- 来場実績：中間市・遠賀町・水巻町・芦屋町・岡垣町周辺住民、アーティストのファン、ダンサー、観客、ブース来店など合わせて、推定約5,000名
- 外部協力者および団体等：
- 主催：中間市 ■主管：公益社団法人 ひびき青年会議所
- 後援：中間ライオンズクラブ・中間商工会議所・イオン中間店・NPO法人北九州物産振興会
- ゲスト：DA PUMP KENZO氏・ダンサー零(Yusei,KELO,Mr.Barbie,キングオブスワッグAtsushi)・Shady shit・Afro Jack Classics ■司会：TRIQUESTARリーダー だーよし

【ダンス講習会】

- 日時：平成30（2018）年10月29日（月）8:45～16:00
- 参加者と会場：中間西小学校（286名）・中間東小学校（491名）・中間北小学校（282名）
- DA PUMP KENZO氏による講演および実技指導（青少年の育成）

【実施組織】

- 理事長 富田 誠二（責任者）
- 事務局長 藤川 和博（全体統括）

【具体的な実施内容】

①B級グルメ大集合ほか 10:00～18:45

- さまざまな食ブースの出店
- ハロウィン仮装イベントなど



②メインステージ

- 10:00～10:07 オープニング/主催者および実行委員長挨拶
- 10:07～10:15 Shady shit・Afro Jack Classics、理事長・モンゴルさん自己紹介
- 10:15～12:07 ダンスコンテスト予選第1部（小学生以下の部）
- 12:07～12:15 採点集計および決勝進出者8組発表
- 12:15～13:15 休憩
- 13:15～13:25 Shady shit・Afro Jack Classics自己紹介およびダンスパフォーマンス
- 13:25～14:32 ダンスコンテスト予選第2部（中学生以上の部）
- 14:32～14:40 採点集計および決勝進出者8組発表、予選会の全体統括
- 14:45～15:15 DA PUMP KENZO物販ほか
- 15:20～15:40 ハロウィン仮装審査&表彰式
- 15:47～16:00 中間市作文コンクール2018表彰式
- 16:00～16:10 決勝審査員自己紹介 理事長・モンゴルさん・DA PUMP KENZO氏・ダンサー零(Yusei,KELO,Mr.Barbie,キングオブスワッグAtsushi)
- 16:10～16:47 ダンスコンテスト決勝（小学生以下の部）
- 16:47～17:22 ダンスコンテスト決勝（中学生以上の部）
- 17:22～17:40 休憩
- 17:40～18:00 パフォーマンスライブ
- 18:00～18:38 ダンスコンテスト結果発表&優勝チームダンス&表彰式&記念撮影
- 18:38～18:45 閉会挨拶（当NPO法人 代表理事・富田誠二）



活動計算書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

NPO法人中間市地域活性化協議会

(単位:円)

科 目	公益目的事業	管 理 部 門	当 年 度 合 計	前 年 度	増 減
1. 経常増減の部					
経常収益					
事業収益	102,000	0	102,000	319,000	△ 217,000
事業収益	102,000	0	102,000	319,000	△ 217,000
受取補助金等	9,700,000	0	9,700,000	17,050,000	△ 7,350,000
受取地方公共団体補助金	9,700,000	0	9,700,000	10,000,000	△ 300,000
受取地方公共団体助成金	0	0	0	6,750,000	△ 6,750,000
受取民間助成金	0	0	0	300,000	△ 300,000
受取寄付金	2,312,307	0	2,312,307	435,000	1,877,307
受取寄付金	2,312,307	0	2,312,307	435,000	1,877,307
雑収益	0	135,242	135,242	360,007	△ 224,765
受取利息	0	42	42	37	5
雑収益	0	135,200	135,200	359,970	△ 224,770
経常収益計	12,114,307	135,242	12,249,549	18,164,007	△ 5,914,458
経常費用					
事業費	10,181,253		10,181,253	15,226,969	△ 5,045,716
旅費交通費	398,879		398,879	503,743	△ 104,864
通信運搬費	181,456		181,456	290,288	△ 108,832
運営費	7,543,233		7,543,233	9,833,841	△ 2,290,608
消耗品費	0		0	123,077	△ 123,077
会場費	261,440		261,440	2,507,169	△ 2,245,729
印刷製本費	695,964		695,964	739,104	△ 43,140
広告宣伝費	138,780		138,780	208,980	△ 70,200
保険料	402,752		402,752	411,064	△ 8,312
諸謝金	457,411		457,411	153,080	304,331
表彰費	62,214		62,214	176,883	△ 114,669
租税公課	0		0	20,800	△ 20,800
支払寄付金	0		0	50,000	△ 50,000
支払手数料	11,016		11,016	9,936	1,080
雑費	28,108		28,108	199,004	△ 170,896
管理費		2,999,737	2,999,737	3,051,053	△ 51,316
給料手当		774,000	774,000	766,800	7,200
会議費		67,853	67,853	0	67,853
福利厚生費		0	0	5,554	△ 5,554
通信運搬費		86,974	86,974	88,991	△ 2,017
減価償却費		38,666	38,666	3,333	35,333
消耗品費		66,488	66,488	86,968	△ 20,480
修繕費		30,000	30,000	0	30,000
光熱水料費		163,447	163,447	176,359	△ 12,912
賃借料		1,193,616	1,193,616	1,193,616	0
保険料		26,177	26,177	87,047	△ 60,870
租税公課		75,600	75,600	10,000	65,600
支払寄付金		0	0	10,000	△ 10,000
雑費		476,916	476,916	622,385	△ 145,469
経常費用計	10,181,253	2,999,737	13,180,990	18,278,022	△ 5,097,032
当期経常増減額	1,933,054	△ 2,864,495	△ 931,441	△ 114,015	△ 817,426
経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	1,933,054	△ 2,864,495	△ 931,441	△ 114,015	△ 817,426
法人税・住民税および事業税	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	1,933,054	△ 2,864,495	△ 931,441	△ 114,015	△ 817,426
前期繰越正味財産額			1,849,017	1,963,032	△ 114,015
次期繰越正味財産額			917,576	1,849,017	△ 931,441

貸借対照表

平成31年3月31日現在

NPO法人中間市地域活性化協議会

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I. 資産の部		II. 負債の部	
流動資産		流動負債	
現金預金	1,453,461	未払金	2,055,456
現 金	956	預り金	△ 1,070
普通預金	1,452,505		
未収入金	1,000,000		
流動資産合計	2,453,461	負債合計	2,054,386
固定資産		III. 正味財産の部	
什器備品	58,001	前期繰越正味財産	1,849,017
敷 金	460,500	当期正味財産増減額	△ 931,441
固定資産合計	518,501	正味財産合計	917,576
資産合計	2,971,962	負債・正味財産合計	2,971,962

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

定率法によっています。但し、建物・建物附属設備・構築物については定額法によります。

2. 事業費の内訳

(単位:円)

科 目	中央サッカオフィセント	派イキッズ交流会	ニ タ ン セ ル	達 賀 川 フ ェ ス	ダンス舞臺会	さくらイルミ
事業費						
旅費交通費	0	398,879	0	0	0	0
通信運搬費	0	16,190	0	165,266	0	0
運 営 費	905,000	539,270	1,529,895	2,808,668	0	1,760,400
会 場 費	0	85,400	0	20,520	0	155,520
印刷製本費	0	162,000	0	385,964	0	148,000
広告宣伝費	0	0	0	0	0	138,780
保 険 料	134,120	41,450	105,010	60,020	0	62,152
諸 謝 金	27,000	60,411	0	40,000	250,000	80,000
表 彰 費	0	60,340	1,874	0	0	0
支払手数料	1,836	3,132	1,296	3,240	540	972
雑 費	0	0	0	28,108	0	0
事業費計	1,067,956	1,367,072	1,638,075	3,511,786	250,540	2,345,824

3. 使途等が制約された寄付金

使途等が制約された寄付金はありません。

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末純資産価額
有形固定資産						
什器備品	100,000	0	0	100,000	△ 41,999	58,001
無形固定資産						
敷金	460,500	0	0	460,500	0	460,500
合計	560,500	0	0	560,500	△ 41,999	518,501

財 産 目 録

(平成31年3月31日現在)

(単位:円)

科 目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	法人事務所内		956
	普通預金	西日本シティ銀行 中間支店	公益目的事業資金・運転資金として	1,452,505
		西日本シティ銀行 中間支店	公益目的事業資金・運転資金として	0
	未収入金	中間市会計管理者	さくらイルミ補助金	1,000,000
流動資産合計				2,453,461
(固定資産)	什器備品	プロジェクター	事業に関するプレゼン等に使用	58,001
	敷金	株ハウス倶楽部	事務所賃借に係る敷金	460,500
固定資産合計				518,501
資 産 合 計				2,971,962
(流動負債)	未払金	株コアズ	さくらイルミ警備料金	155,520
		株イベントシンクプロモーション	さくらイルミ運営費	1,760,400
		株アド通信社	さくらイルミ広告費	138,780
		西日本シティ銀行	振込手数料3件	756
	預り金	法人事務所内	源泉所得税	△ 1,070
流動負債合計				2,054,386
(固定負債)				
固定負債合計				0
負 債 合 計				2,054,386
正 味 財 産				917,576